

一 般 質 問 通 告 一 覧 表

平成30年第2回（6月）

No.1

質問者	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求 め る 者
日高 和典	1. 人口減少対策について	① 28年9月定例会で人口ビジョンについて質問したが、安定した雇用創出と交流人口拡大へのこれまでの成果と今後の取り組みについて、町長の見解は。 ② 年1回婚活イベントを実施しているが、これまでの成果と今後の取り組みについて、町長の見解は。 ③ 本町には限界集落が15集落ある。集落の検討課題と対策は。	町 長
	2. 薬草の耕作振興について	① 新規作物として遊休農地等を利用し、薬草の耕作振興を図るべきと考えるが、町長の見解は。	町 長
徳永 留夫	1. 人口減少問題について	① 町長が考える一丁目一番地の施策は。 ② その施策をどのように実行・反映していくか。 ③ わが町においても「待ったなし」の状態である。最大の原因は少子高齢化問題と考えるが、10年後、20年後に向けての取り組みは。	町 長
	2. 地域活性化交付金について	① 前回も同様の質問があったが、使い道をソフト面に限らず、ハード面にも使用できないか。	町 長
	3. 地域おこし協力隊について	① 数年経過しているが、その活動内容は。 ② 地域おこし協力隊としての機能は果たしていると考えるか。 ③ 本年度も募集のようだが、地域コーディネーターとして集落支援員と協力して、維持・活性化することはできないか。	町 長
戸田 和代	1. 買物弱者対策について	① この質問は、平成28年9月定例議会とその前と今回で3回目となる。 高齢化率36.37%になり、超高齢化社会に突入してきた。大字地区の買物弱者対策は緊急課題となっている。 前回の定例会の答弁として「不便を感じる対象地域へのアンケート調査、意見を伺いながら少しでも生活環境が改善できる方策を検討したい」と答弁している。その結果は。	町 長
	2. 移動文化祭について	① なかなか中央施設である、種子島こりーなや中央公民館等に出向くことが出来ない。高齢者、地域住民が心豊かな生涯を送るために芸術文化に触れる機会を与える移動文化祭の考えは。	町 長

一 般 質 問 通 告 一 覧 表

平成30年第2回（6月）

No.2

質問者	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求 め る 者
池山 朝生	1. 将来の農業振興について	① これまでに農業振興については多くの質問があった。その中で特に「キビ」に対するの振興策はどのように講じられてきたか。 ② それぞれの対策を講じてきたと思うが、過去6年のうち単収5トン台が4回と低単収続きのこの不作の現状をどのように捉えているか。また、低収入によって農家はどのような環境にあると考えるか。 ③ 農家の疲弊は大変なものであると考える。このことからして、今後のキビ対策をどう講じていくのか。	町 長
	2. 予算措置について	① 今年度予算で、テニスコート改修予算が1億1,756万円計上されている。農作物が不作の時に時期的に妥当か。詳細な説明を求める。 ② 改修予算の財源の内訳説明を求める。	町 長
	3. ふるさと納税の寄付金充当について	① 寄付金の充当内訳の説明を求める。 ② 寄付金の使途について、どのような考えで運用しているか。	町 長
	4. 海の再生（磯焼け）について	① 藻場の造成の取り組みも中途半端で終わったが、このまま何もしないのか。磯焼け対策をやる考えがあるか。	町 長
蓮子 信二	1. 自主財源の確保について	町税を始め、自主財源の乏しい本町において町有林70haの杉が樹齢50年前後の伐期に達している。積極的に利活用して少しでも自主財源として確保すべきでは。町長の考えは。 ① 売払（利用）計画と今後の見通しについて。 ② 今年度計画の森林環境保全直接支援事業による間伐材の売上げ見込みについて。 ③ 分収林の契約状況と契約満了後の対応について	町 長
	2. 子育て支援について	① 平成16年4月、町内4中学校を統合し、中種子中学校としてスタートしている。開校に伴い、4路線のスクールバスが運用されている。このスクールバスの利用について高校生まで対象にしてほしいとの声がある。子育て支援の一環（教育費の負担軽減）として利用対象にすべきと思うが、町長の考えは。	町 長

一 般 質 問 通 告 一 覧 表

平成30年第2回（6月）

No.3

質問者	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求 め る
下田 敬三	1. 国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の将来に向けた推計について	① 2045年には中種子町の人口が4,610名、高齢化比率も48.9%となり、種子島全体の人口も16,868名になると推計されている。また、高齢化が進む中で、国の社会保障費も2040年度には、190兆円と現在の1.5倍以上に膨れ上がるとされている。当然、農家の減少も免れないであろう。今、国がこのように次々と将来に向けた提言を国民に投げかけている姿勢に対する見解を求める。	町 長
	2. 農業施策について	① 今期のサトウキビ植付け調査結果についての説明を求める（西之表・南種子町の結果を把握しているなら含めて） ② 平成30/31年産についても、サトウキビ増産基金事業と併せ町単独の事業が多く計画されている。また、3月定例会で熊毛支庁・各市町の農水課長で緊急に農業振興に係る会議を立ち上げたと説明されているが、西之表市・南種子町も単独事業を展開しているのかを含め、この会議についての経過説明を求める。 ③ 品目別経営安定対策事業の中で、1ha未満の農家については、特例で収穫面積の3分の1以上の管理作業等を委託することで条件を満たしているが、31年度から特例が廃止され2分の1以上の委託が条件となる。その管理作業を認定農家が受託できるとなっているが、認定農家の活動実績の説明を求める。 ④ 2010年4月に宮崎県で口蹄疫が発生してから8年になるが、3月に韓国で豚の口蹄疫が続けて発生している。今、多くの外国人が、観光で全国に来日しているが、鹿児島本土はもちろん、種子島にもクルーズ船が寄港している。種子島管内における家畜伝染病対策の現状について説明を求める。	町 長
園中 孝夫	1. 地域おこし協力隊について	① 町として地域おこし協力隊に何を期待して業務に当たらせているのか伺う。 ② 地域おこし協力隊のこれまで取り組んで来た中での成果について伺う。 ③ 地域おこし協力隊を各校区に居住させ、地域活動をサポートさせると言っているが、進捗状況を伺う。	町 長
	2. にぎわいづくりの拠点施設の設置について	① にぎわいづくりの拠点施設の設置について質問したが、あの時の答弁で商工会と検討する。アンケート等を取りながら進めると言う事だったが、どうなったのか伺う。	町 長
濱脇 重樹	1. 老人クラブ助成事業等について	① 申請書類等の簡素化をすべきでは。 ② 補助金の見直しはできないのか。	町 長
	2. 地域定住支援事業について	① 指定地域の見直しをする考えはないか。	町 長

一 般 質 問 通 告 一 覧 表

平成30年第2回（6月）

No.4

質問者	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求 め る
山元 みさ子	1. 地域包括支援センター健康体操教室について	① 地域包括支援センターの健康体操教室を集落単位でも実施できないか。 ② 集落、校区で活動しているグループもあるようだが、現在の自主グループの活動状況は。1回に何名くらいの参加か。 ③ 各集落での自主活動を始めるに当たって、地域包括支援センターで指導を行うのか。	町 長
	2. 定住・移住事業について	① 商店街、各集落での空き家の実態。空き家バンクの登録数は。 ② 空き家バンク制度を町外の人達にどのようにアピールしているのか。 ③ 空き家バンク制度を利用した移住者の状況、移住後の職業形態は。	町 長
永瀆 一則	1. サトウキビ増反対策について	① 昨年作より減反である。では、この危機的状況をどのように考えるか。 ② これから先も高齢化、減収などにより到底増反は難しいと思う。町長はそういう危機感を持った事はないのか。それとも、この危機を乗り越える自信があるのか伺う。	町 長
徳永 紹道	1. 国民健康保険制度について	① 国保制度がスタートした1960年代から現在（平成29年度）にいたる経緯について町長の認識を伺う。 制度がスタートした頃の、国保会計に対する国の負担分と、平成29年度国の負担分はどうなっているのか。（総医療費に対する負担分のパーセント） ② 町の国保加入世帯主の職業構成割合（平成29年度分） ③ 加入世帯主の所得割合（平成29年度分） ④ 県より町に割り当てられる納付金は。 ⑤ 標準保険税率は。 ⑥ 県より示される国保運営方針は。 ⑦ これから法定外繰入はどうなるのか。 ⑧ 国保の構造問題について 政府・厚労省は2014年1月から「国保制度改革」に係る地方との協議を本格化させたが、その中で全国知事会などの地方団体から「国保の構造問題を解決することなしに、都道府県単位化を進めることは認められない」という意見が主張されるようになった。 町長は、全国知事会等がこのような意見を政府・厚労省に要求したことを知っているか。	町 長